

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 2 - 19)

件名	空調機用加熱コイルからの蒸気漏えい
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 低レベル廃棄物処理建屋: 建屋換気設備空調機</p> <p>(2) 発生の状況 空調機用加熱コイルの蒸気通気中</p> <p>(3) 概要 銅管のコイル溶接部に亀裂が入り、コイルユニットから蒸気が漏えいし、建屋換気設備の一部を停止</p> <p>* 他建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。</p>
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 低レベル廃棄物処理建屋の換気設備が稼働しているエリアでの事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 巡視点検等により漏えいを発見後、漏えい箇所を隔離し、漏えいを停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 放射性物質を含まない蒸気の漏えいであり、放射性物質による汚染・被ばく等の影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 建屋内の温度調整に用いるコイルであり、蒸気を停止しても工程運転に影響は生じない。</p>
対応の概要	<p>(1) 蒸気供給弁により、当該部への蒸気の供給を停止し、送風機を停止する(排風機は制限運転)。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、コイルを交換または溶接補修する。</p> <p>(3) 交換または溶接補修終了後、蒸気通気を行い異常のないことを確認した後、风量調整弁を開操作し定常運転を再開する。</p>

公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染・被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	

